

ようこそ、

田中家資料館へ



住宅主屋

田中家資料館は三重県松阪市飯高町波瀬にありま。と言つても分かつていただけの方はほんの僅かだと思ひます。松阪牛で有名な松阪市からR166を1時間10分走るとそこが波瀬、波瀬は山の中です。♪と口ずさみたくなるような山里です。そしてあと6.5km走れば奈良県との県境「高見トンネル」。トンネルを越えると東吉野、吉野へと続きます。江戸時代にはこの道が和歌山街道と呼ばれ、紀州藩の参勤街道でした。そんな奥深い山の中に【田中家資料館】は在ります。

50年間誰も住んでいなかった住宅を、分家の方に手伝って頂いて2人で片付け始めたのが6年前、終活の第一歩でした。納屋に収納されていた甲冑、籠、火鉢などを眺めながら遺された数々の品を皆様に見ていただけたら、ご先祖もきっと喜ばれるのでは？の思いが芽生えました。そんな中、明治中期から大正時代に建てられた主屋をはじめ蔵、納屋、土塀、前座敷（茶室）、石垣など11件の建造物全てが、2018年に国の登録有形文化財となり、それが資料館開設の一步を踏み出すきっかけになりました。



館長
田中 洋子
1969 (S44) 年 文学部卒
同窓会 三重支部 支部長

蔵の奥に眠っていた明治40年の婚礼時の打ち掛け、長持ち、嫁入り道具。江戸中期の見事な銅鏡、素敵な螺鈿細工の文箱、明治・大正時代の新聞など、全てが面白く、また新鮮で整理する手が止まってしまう。松阪市内の自宅からの往復2時間半の運転も気にならないくらい、片付けに熱心しました。使われた時代、使用法など調べ、名札に説明を添え、そして整理、陳列等の大変だった作業も今思えば懐かしい時間でした。そして2019年4月に【有徳館】【有徳笑館】を公開する事になりました。

さて資料館案内の前に田中家の歴史を簡単に。
永禄2年(1559年) 佐々木源氏の流れを汲む佐々木四郎五郎孝好が戦禍により所領を失い、近江の国からこの波瀬に住まいを移しました。身分を隠すため田中彦左衛門を名乗り、歴代農業を営む傍ら、植林、酒造業に携わり、江戸時代には和歌山街道、波瀬宿の脇本陣を務めました。明治に入り、「郷土の発展・家運の興隆は林業にあり」と十四代彦左衛門が強い信念を持って林業の道に入り、現当主十七代まで林業を続けています。



【有徳館】



【有徳館】2階 展示



【有徳館】1階 甲冑展示



【有徳笑館】日本の火鉢いろいろ展



【有徳笑館】入り口に大八車を展示



【洗耳亭】から眺める櫛田川は絶景



2本の柱で石垣に建つ【洗耳亭】



【有徳笑館】丸頭鋸

て四つ目結紋の入った甲冑です。長柄槍、陣太鼓、陣笠、陣羽織、火縄銃などが並びます。寛延2年(1749年)に彦左衛門が「西國三十三所順禮」をした時の装束も残っています。整理してファイリングした昔の新聞は読み出すと面白く、時間がいくら有っても足りません。明治・大正・昭和の家庭用品は、「これ知ってる!」「お

もしろい!こんなの見たことない」と皆様に言っていたできます。懐かしいラヂオ、レコード、蓄音機、ブリキの玩具、波瀬の厳しい寒さを物語る大きな「掻巻」も展示しています。2階は打ち掛け、振袖、箏、油単、銅鏡、嫁入り道具など、1階とは全く違う華やかな世界です。浮世絵、お歯黒の道具、盤双六、二弦琴、腰差煙草入れ、

行燈、提灯、燭台、ランプ、等など、数え上げたらキリがありません。そして我が資料館のセールスポイント!一部はガラスケースに収まっていますが、殆どの物が手に取って見て頂けるのです。実際に触れることで当時の生活や歴史・文化を肌で感じて頂けるのではないかと考えています。一方、【有徳笑館】では田中家が使っていた道具類を展示してあります。当主の自家用車?として使われた「嫁入り籠」、大きな「ノコギリ」「丸頭鋸」、

様々なノコギリ、矢立て、刻印などの山仕事の道具、「竹篩」(竹で編んだふるい)をはじめ製茶の道具、お酒造りの道具等を展示してあります。そして100を超える色々な形の火鉢は圧巻です。厳しい寒さの波瀬では、30室以上ある部屋を温めるのにそれ位火鉢が必要だったの

残っている灰は昔のまま。もしかしたら江戸時代の灰?と想像するとちょっと楽しくなります。次に是非見ていただきたいのは眼下を流れる櫛田川から城郭のように積み上げられた3段の石垣です。3段目だけでも8m余り、河原からは25m以上の高さがあります。その上に建つ【洗耳亭】(前座敷)の縁側がたった2本の柱で支えられているのも驚きです。新緑、紅葉の季節はどんな観光地よりも素敵だと私は思っています。現在の公開は【主屋の一部】【有徳館】【有徳笑館】ですが、【主屋】【洗耳亭】公開のイベントも予定しています。また【洗耳亭】を句会、茶会などに使って頂きたいと考えています。コロナ禍で延びていますが、土蔵の一つを【ギャラリー蔵】と命名し、イベント会場として開放予定です。先ずは先代が蒐集した莫大な数の切手を展示したいと思い、今、関学切手研究会OB会の皆様に色々とおバイスを頂いています。同窓のご縁を頂けるのは嬉しい限りです。またご縁と云えば、一昨年4月の資料館オープンには遠く有馬・北神戸からOBの方々が遠路遙々訪問して下さいました。同窓の

田中家資料館
〒515-1725
三重県松阪市飯高町波瀬213
http://www.tanakahazemuseum.com/

お問い合わせ
田中家資料館 TEL / 050-3592-0722
tanaka.haze.museum@gmail.com
■木曜・日曜開館(前日までに予約をお願いします)
■1・2月は冬期休館



併設の波瀬植木園に咲く水芭蕉(4月中旬が満開)